



開陽丸と榎本武揚(画像①)



記者、彼から新聞紙半分
札幌に住む水産関係の

鉄のふしぎ? 博物館

■55

『開陽丸の鎖1』



衣川製鎖工業・衣川良介社長

画像はカラーと
交換しています。

ほどの切り抜きが送られて来たことに始まりま
す。それは平成3年(1
991年)のこと、新聞
には開陽丸のチェーンと
書かれた大きな写真が写
っていました。江差の海
底から引き揚げられたも
ので、チェーン以外にも
砲弾や銃、滑車やロープ
などの船員、色々な工具
類などたくさんさんの遺物で
す。

この開陽丸がいつ、ど
こで作られたのか?開陽
丸の事をとりあえず調べ
始めました。徳川幕府は
嘉永6年(1853年)のペリー浦
賀来航以降、海軍
の増強になみなみ
ならぬ意欲を示
し、文久元年(1
861年)にアメ
リカへ蒸気軍艦3
隻を注文しましたが、当
時、南北戦争が激化した
ため、アメリカ側が軍艦
建造を断りました。

文久2年(1862年)
オランダへ蒸気軍艦1隻
(開陽丸)を発注しまし
た。各藩から選ばれた留
学生達は操船や運
行に関わる船舶関
係の人々、鍛冶屋
や鋳物師、船大工
など造船関係者、
医者と法律家、測
量技師と経歴や職
種は様々で年齢も
19歳から45歳まで



注文書の葵の紋章

と異色の混成チームで
す。法律家や医師はライ
デン市にある最も古い名
門のライデン大学に入り
ました。船の関係者はラ
イデン市から50キロほど離
れたドルトレヒト市のヒ
ップス・エン・ゾーネン
造船所を拠点にしまし
た。主な留学生は以下の
方々です。榎本武揚(画
像①)・内田正雄・澤太
郎左衛門・赤松則良・田
口俊平・津田真道や西周
を含め総勢15名です。

文久3年(1863年)
8月に着工した開陽丸は
慶応元年(1865年)
進水。その後、フリシン
ゲンにあるオランダ海軍
造船所で、西ドイツのク
ルップ会社より送られて
きた最新鋭の大砲等が搭
載され、完成は慶応2年
(1866年)11月でし
た。開陽丸は船長72尺、
船幅13尺、シッブ型3本
マスト、総トン数259
0トンの最も強力な軍艦。
建造にあたってはオラン
ダの技術者から、徐々に
鉄船が増えていた現状を
考慮し、木造船ではなく
鉄船にしてはどうかとの
提案があり、幕府に問合
せをしましたが、何の返
事もありません。結
果、当時の日本人に
すれば鉄で作った船が浮
くはずはないと考えてい
たのかも知れません。結
局、木造船の船体底部を銅
板で補強した船が仕上が
りました。徳川幕府の葵

の紋章(画像②)は23
の銅板で作られていて似
た形ではありませんが、ハ
ートが三枚組み合わさっ
たものでした(画像③)。
文化の違いで間違っ
たものが生まれたよう
です。

船が鉄板で作られるよ
うになったのに、鋳を繋
いでいた麻綱はすぐに切
れてしまうようになりま
した。そこで鉄製の鎖が
生まれました。ロイド船
級協会の資料によると鋳
綱に替わって初めてアン
カーチェーンが使われ
たのは1808年、イギリ
スの商船「アン・イザベ
ラ」で、『開陽丸』には直
径1/3/4(44・5ミ
リ)のアンカーチェーン
がついていました。

【参考図書】

▽開陽丸ルネッサンス
(石橋藤雄、1993年
共同文化社)